

部の内 号) 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他について検閲班に連絡ありたい。

外儀官

典房

審長長

電厚計

会営給

析調

旅查移

電信写

総番号(TA) 16115

72年 月 30日 09時 50分

72年 月 30日 10時 57分

韓  
本

國  
省

主 管

發 着 アル

外務大臣殿

旅官

大使

臨時代理大使

總領事

代理

北鮮問題処理振りに関する所見(イ)

第455号 極秘

往電第379号に關し

先般朝総連系朝鮮人の北鮮訪問の件は、はしねくも日朝接觸に當つての問題点の所在、根深さ等につき再認識を得させらる契機となつたが、この機会に日朝ゴンタクト、特に国内朝連系分子の北鮮との接觸問題につき本使の感じたる所、何等御参考まで次のとおり。

1) 先づわが国の北鮮接觸の増進と中共に対するそれとの間には本質的差異が存すべきものと思われる。

即ち、中共の場合はその国連加盟により従来の万般の議論はともあれ、今やニシキのミヘタは中共側にうばわれ、わが国も台灣との正式国交を止め、中共と正式国交を開く方の向に進むべき基本方針を宣明するに至つた以上、わが国の方針に則した中共との諸般のゴンタクト増進に當つては、右は半面において必然的には台灣に対するくつう、困難の增加ないし、そのぎせいにおいて行なわれること、即ち「AT THE PRICE OF TAIWAN」に

注 意

電 信 写

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

おいて推進される結果となるが、これはれい厳な現実外交のゴーピとしてわが国ももはや右に不当にかい意する要なくなるまた台湾も今や「ふまれても受けられてもいいんにん自重の心構えにあるものと思われる。

2) ヴィエトナムの場合はやや異なるとはいえる今や米国は  
ヴィエトナミゼーションの名の下に米国の最少限度の面子  
されたたば「後は野となれ」式に撤兵のはらであります従つて南<sup>へ</sup>越が将来において現在の体質と IDENTITY の  
ままで長く VIABLE NATION として存続し得る  
や否やについては自他ともに疑問の深いところであろう。

3) 約言すれば、アジアの分裂国家のうちシナとヴィエトナムについてはいわゆる「東ふう西ふうを圧レ」<sup>は</sup>れたかもまたそれに近い事態になるポテンシアリチーを強く包蔵するものなることは否定し難いところであろう。  
右に対し韓国の場合はその立場はさきの台湾等の場合と全然異っている。韓国成立に関する国連決議や日韓条約をはじめ各国の韓国承認の際とつた態度に因り、韓国はその全朝鮮半島に対する MORAL CLAIM は別として、  
国际法的には南鮮のみの国家であり、逆に言えば将来如何に北鮮の地位が上つて来ても、右が台湾の場合の如く、韓国の国际的地位を REPLACE するものではなく、事

## 注 意

電 信 写

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

態が北鮮にとって最もうまく運んだ場合といえども、西ドイツの如く ONE NATION 中における TWO STATES として南北鮮がへい存することを認められるのがおちである。況んや、その人口、面積、国際社会における地位等より見て、西ドイツの場合と同じく、むしろ「西ふうが東ふうを圧する」ポテンシヤリチーを有するとする見得るであろう。かくして北鮮による南鮮の地位の REPLACE がないことはつきりしている。即ち、「ニシキのミハタ」が北に行く心配もまたかかる兆こうも見られない以上、(北による武力ないし暴力革命方式の統一がない限り) 右「REPLACE」は起り得ない。わが国と北との接触増進工作は北による REPLACE の EVENTUALITY を念頭に置きつつ、南のせいにおいて (AT THE COST OF SOUTH KOREA) これを押進める必然性も必要性も全然なく、わが国としては何等の後めたさなく、その与國たる韓国の立場に十二分の配慮を払つて処理すべきであり。万が一にも前述の如く事情の全然異なる中国・ベトナムのケースから類推し、「次は北鮮も」ときそい合うが如き国内一部のムードに流されることなきようから心すべきであろう。朝鮮においては韓国を支持することは決して負けうまでにかけていることにはならない。しかも今日北鮮とのコンタクト増進の名分はこの地域に

## 電信写

## 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

における緊張かん和に対するこうけんなるべきところもわが国として若し朝鮮半島に戦火起るが如き緊張の増ぬうあればこそこれこそ最もわが国益に反するところであり何を描いても緊張かん和策にぼつ頭すべきであらうが現現在のところ韓國に武力北進の実力と自信なく他方北鮮側も内心はともかく差し当たり平和かぜをふかせおる現状の下にあってわが国の安全保障がINVOLVEDされるが如き差し迫つたSERIOUSな緊張はこの方面には存在しないと見得る必然りとせばわが国益の観地からすれば対北鮮融和措置は現在の一一般的な緊張かん和のふう調にGET ALONGして適当につないで行く程度のはら構えてよく少くともわが与国たる韓国にしつなくつうを与えるひいては日韓の離間を招ねいてまで一生涯にいわゆる緊張かん和外交推進するに値いないと観念すべきであらう。もつとも基本観念は右の如くとしても国内政情上の顧慮等より対北鮮融和につきある程度のゼスチャーは止むを得ざるべきところも右実施に当つては上述の基本観念に照らしきかつはその各かん和措置が北鮮に対するFLIRTATION行為たる本質を免れていることにかんがみる名実共に与国たる韓国の立場もこれに与える心理的インパクト等につき細心の注意を払いつつ実施に移すべき各措置の順位、実施のペース（ないレインターベル）も及びタイミン

# 注 意

電 信 写

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

ジ等を決めるよう留意すべく、特に現在韓国はニクソンのドクトリンの米中ゆきどけ以来「落目」にならんとしおるが如き心境にあるときだけにりん國たる盟邦のわが國としては一層思いやりのある配意を要しよう。(この点米国が北鮮向けペナントの発行を1年間延期したのは他山の石と言えよう。)

なれど右ペーパーないしタイミングを考える為の若干の標準としてはせき十字会談等において韓国も内々試みている対北鮮かん和の水かき外交より日本が大はばにとび離れて独立し右韓国側の外交措置をOUTLINEし、しほませないようにとの考慮もかん要たるべき、また来るべき国連総会における朝鮮問題審議の模様をくら気もにらみ合わせるべき重要データとなるう。)

(丁)